

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-1-4	事務事業名 郷土資料室の統合整備、文化財教室等の開催	所管部課 生涯学習部社会教育課					
事務事業の概要	事務事業の目的 郷土資料室を整備することにより、市民の郷土史に対する理解を深めることに貢献し、さらに貴重な文化財の有効活用を図るために適切な教室等を開催する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)芸術・文化活動の振興(創3-4) (主要施策)郷土資料室の整備					
	実施内容、実施方法 郷土資料室の日常的な管理運営に加え、年一度郷土史フェアの時に文化財教室等を実施する。	根拠法令等 西東京市郷土資料室管理運営規定					
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
評価指標の設定	活動指標名 郷土資料室開室日数	活動指標の考え方(定義) 郷土資料室の年間開室日数					
	文化財教室等の開催回数	文化財教室等の教室を開催した年間の回数					
	成果指標名 郷土資料室入場者数	成果指標の考え方(定義) 郷土資料室の年間入場者数					
	文化財教室等の参加者数	文化財教室等の年間参加者数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		2,373	2,404	6,235	3,725	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,373	2,404	6,235	3,725	
	所要人員(B)	人	2.10	2.10	2.10	2.10	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	17,317	17,373	17,489	17,489	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	19,690	19,777	23,724	21,214	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(郷土資料室入場者数)	千円	9.33	7.32	7.98		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	日			246	245
		実績値	日	245	245	246	
活動指標	目標値	回			3	3	
	実績値	回	3	3	3		
成果指標	目標値	人			2,800	3,000	
	実績値	人	2,110	2,702	2,972		
成果指標	目標値	人			400	400	
	実績値	人	543	498	496		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)						
	国・都・他市・民間等 における類似事業						
	運営上の制約条件・ 外部要因等						

コード 13-1-4	事務事業名 郷土資料室の統合整備、文化財教室等の開催	所管部課 生涯学習部社会教育課
---------------	-------------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	交通の便が良くないところに移設したことも影響してか、入室者数が伸びてはいるが、大幅な伸びとはいえない。さらに利用される工夫が今後必要となる。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	郷土の歴史を学ぶための資料室等は必要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	投入している経費の割には活用されている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	移転前は土曜日、日曜日は開室日ではなかったが、移転を機に土曜日、日曜日を開室日に変更して、市民が利用しやすい条件を整えた。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	郷土資料を整理するとともに、歴史資料を活用し、企画展や文化財教室を引き続き実施する。

17年度における改善点	資料の整理等を図った。
-------------	-------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
- 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
- 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
- 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
- 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
- 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。